

3月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

草刈り

3月はまず、畑全体の草刈り作業から始めた。広い面積を一気に進めるために、最初は乗用の草刈機で畑全体を一通り刈り、その後、乗用機では刈れない畑の端や木の根元などの細かい箇所を刈払機で進めた。

摘蕾

草刈りと並行して、梨の摘蕾作業も行った。摘蕾は、余分なつぼみを落とすことで果実の品質を高めるとともに、開花時の授粉作業で花粉を無駄にしないための重要な工程である。地味な作業ではあるが、果実の大きさや収穫量に大きく影響する大切な作業である。

活動を行った感想など

刈払機での草刈り作業は、畑の棚が低く常に中腰の体勢で動く必要があり、腰への負担が大きいことを痛感した。体の使い方や休憩の取り方を工夫しないと、長時間の作業はかなり厳しいと感じたので、今後の課題にしたい。

摘蕾は、地味な作業ではあるものの、梨の品質や生育にとって不可欠な工程であることを学んだ。

今後の目標など

これから本格的な授粉作業や摘果に入っていくにあたって今のうちに体力をつけておきたい。

